

企業的漁業経営や内水面漁業の安定的発展

水産課

1. 目指す姿と取組のポイント

【企業的漁業経営や内水面漁業の安定的発展】

- 科学的知見の収集・提供の充実等により、資源管理と収益性向上の両立を図る。

【主な取組の進捗状況】

- 魚種別分布予測システムについて、沖合底びき網漁業でシステムを活用して操業した結果、現在のところ、以下の効果を確認。
 - 1航海あたりの漁場探索に要する時間が約2時間短縮され、曳網回数が約2回増加
 - 1航海あたりの漁獲金額が平年値（過去5年平均）に比べ7%増加

2. 取組を進めるための令和3年度予算事業

効率的な操業による漁獲と資源管理の両立

- 魚種毎の分布状況を予測し漁業者に少ないタイムラグで情報提供することで、漁業者が資源管理が必要な魚種の漁獲を避けたり、小型魚を避けて商品価値の高い大型魚を漁獲したりできる、効率的な操業を可能とするシステムを、沖合底びき網漁業の主要な漁獲対象種（15種）で開発。

（底びき網漁業資源管理プロジェクト（試験研究） 3,424千円）

省エネ等による収益性の向上

- 収益性の向上に必要な漁船等のリース方式による導入を支援。

〔助成率〕 1/2 〔上限額〕 250,000千円

（水産業成長産業化沿岸地域創出事業（漁具等リース事業）（国）

水産業競争力強化緊急事業のうち漁船導入緊急支援事業（漁船リース事業）（国））

- 国の漁船リース事業を活用して高性能漁船を導入し、収益性の向上に取り組む漁業者のリース料負担を軽減し、企業的漁業等の構造改革を加速化。

〔助成率〕 漁船建造費の1/20 〔上限額〕 2,500千円 ※市町村と同率を助成

（水産業競争力強化漁船導入促進事業 45,000千円）

優良種苗の放流による資源の安定化

- 近年、アユの天然遡上量が減少しており、人工種苗放流による資源造成の重要性が高まっているが、現状の放流種苗には、病気に弱く放流後の生残率が低いなどの課題があり、資源の増加に至っていないことから、課題に対応した特徴を持つ放流用種苗を開発。

（島根の河川環境に適したアユ優良種苗系統作出事業 4,000千円【新規】）